



## 遙かな想い語り継ぐ責任 弾圧被害者、小尾夫妻のこと

No.186  
2021年 2月15日  
発行者：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
愛知県本部  
461-0004 名古屋市  
東区葵1-22-26  
愛知民主会館内  
Tel:090-9175-9598  
Fax:0564-89-0852  
メール：  
wakayamaharuji0564@yahoo.co.jp

### 私たちの運動の基本

- 一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと
- 二、治安維持法体制の復活に反対すること
- 三、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

国賠県同盟顧問の田中邦雄さんがちょうど一年前、ご自身のフェイスブックにこんなことを投稿されていました。

(要約西田一廣)

古い話ですけど、やつぱり書いておかないと申し訳ないな、と。1960年代の後半から、70年代後半くらいまで、共産党の愛知県委員会へ、毎朝早く電話をくださる方がおられました。「オビ」さんと言われ、かなり高齢のようでしたが、菊雄・ふさ夫妻を検挙した

住所などは一切話されず、日々の共産党の活動を賞賛し、とぎれることなく宿直の党員に語り続け、いかにも思いの丈を吐き出したといふ響きで「がんばってください」と言つて終わられました。

その後、1990年に『愛知・日本共産党物語』を連載している中、「特高月報」昭和18年10月分に「1943年9月20日、前からハツと、あの方だったのではないか。『小尾夫妻』ではない。歴史につながる流れを粗末にしてしまいました。『歴史につながる流れを粗末にしてしまったのでないか。『小尾夫妻』は『オビ』さんだつたに違

いはない。歴史につながる」とあるのを見つけました。

二人の容疑は「愛児正の戦死を悲しみ『名誉の戦死否犬死にを致し候。あ々』の死亡通知、『親よ子よ』とこの撃ひどつ のろは(呪わ)しくして』のふさの和歌など、十数通を知人に送つた」というもので、これが天皇制軍国主義の侵略戦争、なんという非人道性と、怒りを覚えました。

この投稿で私にも、「宿直者泣かせ」の電話の記憶が蘇りました。それからインターネットや図書館で情報を求め、少ないながら文献が見つかったのですが、公にせぬまま1年がたつてしましました。「歴史につながる流れを粗末にしてしまったのでないか。『小尾夫妻』はならぬとの田中さんの思いにも押され、私が知りえ

1921年、一高入学の頃（西田信春書簡）・追憶より



論衡卷之三

上林朋史さんか亡くななるまで心血を注いで調査・研究を続けた結果、私たちは西田信春というすぐれた人物と対面することができます。小林多喜二について多くの方が知つておりますが、多喜二と同時代を人権・平和・社会進歩の為に不屈に闘つた西田信春についても、もつともつと知つてい

## ■ 県同盟の現勢 2月1日現在

819名

## 【入会者】

名南支部 1名・尾北支部 1名 点在 1名 合計 3名

### 【退会者】

名南支部 1名

獲得同盟愛知支部小史」という歴史学者、伊藤康子さんの論文です。小尾さんが最初に登場するのは、1929年2月6日に中区新栄町の「教化会館」で開かれた「時局婦人政談演説会」の主催者としてです。伊藤さんは「新女性社主催」のこの演説会の冒頭で「主催者小尾菊雄」が、「自覚なき現代婦人の政治的無知識を痛論して今回の挙が幸ひに東海婦人に何等かの自覚をもたらすものがあれば幸福」とあいさつしていると、いう書き方をされています。また、これに先立つ夕刻、弁士として来名した市川房枝、奥むめお、金子しげりらを開む名古屋新聞主催の座談会に小尾菊雄が参加しています。

10月 男子普選実現後初の名古屋市議会議員選挙のさなかに、「普選獲得同盟」（以下、「同盟」）と「新女性社」共催の「婦人政談演説会」を前に、「子づれの小尾ふさ」が栄の交叉点で「選舉郭清婦人聯盟」の「市会選挙に対し有権者の方々へ」というビラを配つたということに出現します。ふさんはそれ以後、政友会・民政党本部への要請総選挙批判女性大演説会（参加者1500人）、全日本普選大会に上京参加など、活発な活動ぶりが何度も紹介され、夫の菊雄の名も繰り返し見られます。

「西田信春」

この本は「権力によつて  
闇に葬られた西田信春虐殺  
の真実とともに、その魅力  
あふれる人間性の全貌が甦  
る」と帯に書かれているよ  
うに北海道新十津川出身。  
東京帝大新人会で活動後、  
社会運動に進み、日本共産  
党の九州地方の再建責任者  
として福岡県で活動中、特  
高警察によつて虐殺された  
西田信春の初の本格的評伝

西田信春については、まつたく知られていない人物ですが、彼は小林多喜二と同じ1903年生まれ、虐殺されたのも同じ1933年（昭和8年）。多喜二が虐殺される9日前に、博多署で言語に絶する拷問の末、虐殺されました。彼は最後まで口を割らず、仮名であつたことをいいことに、特高



特高警察の拷問と、夫の転向という二重苦の中で、わずか24歳で命を終えた

伊藤千代子の生涯（仮）の準

備が、全国的に進められています。

女優の竹下景子さんや俳



21.1.5

## 映画千代子 information⑧

発行・治安維持法賠償同盟千代子チーム  
chian@bz03.plala.or.jp 03-5842-6461

担当・藤田=090-4527-1129 fax04-7174-  
2028 mail:fujitahiro@outlook.com

### 「伊藤千代子」映画化への いっそうのご支援を！



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
中央本部会長 増本一彦

1928年3月15日は、25歳以上の男性に限られたとはい、普通選挙権を獲得した労働者・小作農民が戦争反対・平和と民主主義実現・生活向上の要求を掲げて闘い、労農党2議席・無産政党で最多得票を獲得した第1回普通選挙の成果を、國家権力を総動員して潰滅させたわが国の歴史上最大の民主主義抑圧の政治的事件の記念日です。

小林多喜二は、この選挙闘争と政治弾圧を北海道を舞台にした二つの小説（「東京知安行」と「一九二八年三月一五日」）によって労働者の「闘いと抵抗」を活写しました。

伊藤千代子は20代初めに、信州と東京でこの選挙

### ◆撮影開始の年へ 頌 春



闘争を、そして東京で特高警察・思想検事と刑務所の暴力的支配による政治弾圧と闘い、窮れました。

この千代子の「生と死」は、この選挙闘争を闘った幾万という青年労働者・青年農民と、この政治弾圧の犠牲になった幾千・幾万の人々の「闘いと抵抗」の生きざまの一つです。

千代子は天皇制警察の横暴による幹部と夫の裏切りで受けた失意の中でも、「民衆の幸福のために」と、最期まで「女性の心の強さ」を貫きました。この「心の強さ」は、当時の闘い抵抗する女性に共通するものでした。

私たちは、治安維持法犠牲者らの「闘いと抵抗の歴史」と顕彰とこの千代子の「生と死」の映画製作・上映運動の成功のために、さらに支援と協力を強めましょう。

### ◆撮影開始への展望広く 貴重な前進！

	口数		口数		口数
北海道	24	石川県	1	鳥取県	1
秋田県	1	福井県	1	岡山県	4
福島県	1	静岡県	2	広島県	1
群馬県	1	愛知県	17	高知県	1
埼玉県	2	岐阜県	9	香川県	3
千葉県	14	滋賀県	1	徳島県	1
東京都	22	京都府	4	長崎県	3
神奈川県	5	大阪府	12	宮崎県	1
山梨県	4	和歌山	1	鹿児島県	1
長野県	12	兵庫県	4		
新潟県	3	20.12.31 上映権合計	157		

優の嵐圭史さんも出演することになり、今年の秋には撮影になります。開始に向けて準備が進んでいます。成に向けた準備が進んでいます。開始、来年完結します。

映画原案書籍「時代の証言」V.D.もできました。映画製作運動用PR版D

「おおいに進めましょう。」伊藤千代子者おおいに進めました。

若山晴史

